

1. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の第2項から第5項を求めよ。

(1) $a_1=1, a_{n+1}=2a_n+5$ (2) $a_1=2, a_{n+1}=a_n-n$

5. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

(1) $a_1=5, a_{n+1}=3a_n-4$

(2) $a_1=2, a_{n+1}=9-2a_n$

(3) $a_1=1, a_{n+1}=\frac{1}{3}a_n+2$

(4) $a_1=1, a_{n+1}=4a_n+1$

6. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

$a_1=2, 3a_{n+1}+a_n=4$

7. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の一般項を, [] で示されたおき換えを利用することによって求めよ。

(1) $a_1=1, a_{n+1}=\frac{a_n}{2a_n+1} \quad \left[\frac{1}{a_n}=b_n \right]$

(2) $a_1=1, a_{n+1}=\frac{a_n}{3a_n+4} \quad \left[\frac{1}{a_n}=b_n \right]$

(3) $a_1=-1, na_{n+1}=(n+1)a_n \quad \left[\frac{a_n}{n}=b_n \right]$

1. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の第2項から第5項を求めよ。

(1) $a_1=1, a_{n+1}=2a_n+5$ (2) $a_1=2, a_{n+1}=a_n-n$

- 解答** (1) $a_2=7, a_3=19, a_4=43, a_5=91$
 (2) $a_2=1, a_3=-1, a_4=-4, a_5=-8$

(1) $a_2=2a_1+5=2 \cdot 1 + 5 = 7, a_3=2a_2+5=2 \cdot 7 + 5 = 19,$
 $a_4=2a_3+5=2 \cdot 19 + 5 = 43, a_5=2a_4+5=2 \cdot 43 + 5 = 91$

(2) $a_2=a_1-1=2-1=1, a_3=a_2-2=1-2=-1,$
 $a_4=a_3-3=-1-3=-4, a_5=a_4-4=-4-4=-8$

2. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

(1) $a_1=1, a_{n+1}=a_n+6$ (2) $a_1=2, a_{n+1}=-3a_n$
 (3) $a_1=3, a_{n+1}-a_n=1$ (4) $a_1=3, 2a_{n+1}=a_n$

- 解答** (1) $a_n=6n-5$ (2) $a_n=2 \cdot (-3)^{n-1}$ (3) $a_n=n+2$

(4) $a_n=3 \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^{n-1}$

(1) $a_{n+1}=a_n+6$ から、数列 $\{a_n\}$ は初項1、公差6の等差数列である。

したがって、一般項は $a_n=1+(n-1) \times 6$ すなわち $a_n=6n-5$

(2) 数列 $\{a_n\}$ は初項2、公比-3の等比数列である。

したがって、一般項は $a_n=2 \cdot (-3)^{n-1}$

(3) $a_{n+1}-a_n=1$ より $a_{n+1}=a_n+1$ から

数列 $\{a_n\}$ は初項3、公差1の等差数列である。

したがって、一般項は $a_n=3+(n-1) \times 1$ すなわち $a_n=n+2$

(4) $2a_{n+1}=a_n$ から $a_{n+1}=\frac{1}{2}a_n$

よって、数列 $\{a_n\}$ は初項3、公比 $\frac{1}{2}$ の等比数列である。

したがって、一般項は $a_n=3 \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^{n-1}$

3. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

(1) $a_1=1, a_{n+1}-a_n=-2n$ (2) $a_1=3, a_{n+1}=a_n+4n$
 (3) $a_1=4, a_{n+1}-a_n=3n^2$ (4) $a_1=2, a_{n+1}=a_n+5^n$

- 解答** (1) $a_n=-n^2+n+1$ (2) $a_n=2n^2-2n+3$

(3) $a_n=\frac{1}{2}(2n^3-3n^2+n+8)$ (4) $a_n=\frac{1}{4}(5^n+3)$

(1) 数列 $\{a_n\}$ の階差数列の第n項が $-2n$ であるから、 $n \geq 2$ のとき

$$a_n=a_1+\sum_{k=1}^{n-1}(-2k)=1-2\sum_{k=1}^{n-1}k=1-2 \times \frac{1}{2}(n-1)n$$

よって $a_n=-n^2+n+1$

初項は $a_1=1$ であるから、上の a_n は $n=1$ のときにも成り立つ。

したがって、一般項は $a_n=-n^2+n+1$

(2) 条件より $a_{n+1}-a_n=4n$

数列 $\{a_n\}$ の階差数列の第n項が $4n$ であるから、 $n \geq 2$ のとき

$$a_n=a_1+\sum_{k=1}^{n-1}4k=3+4\sum_{k=1}^{n-1}k=3+4 \times \frac{1}{2}(n-1)n=3+2n(n-1)$$

よって $a_n=2n^2-2n+3$

初項は $a_1=3$ であるから、上の a_n は $n=1$ のときにも成り立つ。

したがって、一般項は $a_n=2n^2-2n+3$

(3) 数列 $\{a_n\}$ の階差数列の第n項が $3n^2$ であるから、 $n \geq 2$ のとき

$$\begin{aligned} a_n &= a_1+\sum_{k=1}^{n-1}3k^2=4+3\sum_{k=1}^{n-1}k^2=4+3 \times \frac{1}{6}(n-1)n[2(n-1)+1] \\ &= 4+\frac{1}{2}n(n-1)(2n-1) \end{aligned}$$

よって $a_n=\frac{1}{2}(2n^3-3n^2+n+8)$

初項は $a_1=4$ であるから、上の a_n は $n=1$ のときにも成り立つ。

したがって、一般項は $a_n=\frac{1}{2}(2n^3-3n^2+n+8)$

(4) 条件より $a_{n+1}-a_n=5^n$

数列 $\{a_n\}$ の階差数列の第n項が 5^n であるから、 $n \geq 2$ のとき

$$a_n=a_1+\sum_{k=1}^{n-1}5^k=2+\frac{5(5^{n-1}-1)}{5-1}=2+\frac{1}{4}(5^n-5)$$

よって $a_n=\frac{1}{4}(5^n+3)$

初項は $a_1=2$ であるから、上の a_n は $n=1$ のときにも成り立つ。

したがって、一般項は $a_n=\frac{1}{4}(5^n+3)$

4. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

(1) $a_1=4, a_{n+1}=2a_n-3$ (2) $a_1=2, a_{n+1}=5a_n-4$

(3) $a_1=1, a_{n+1}=4a_n+6$ (4) $a_1=1, a_{n+1}=\frac{1}{3}a_n+2$

- 解答** (1) $2^{n-1}+3$ (2) $5^{n-1}+1$ (3) $3 \times 4^{n-1}-2$ (4) $-2 \times \left(\frac{1}{3}\right)^{n-1}+3$

(1) $a_1=4, a_{n+1}=2a_n-3$

$c=2c-3$ を解くと $c=3$

漸化式を変形すると $a_{n+1}-3=2(a_n-3)$

$a_n-3=b_n$ とおくと $b_{n+1}=2b_n, b_1=a_1-3=4-3=1$

数列 $\{b_n\}$ は初項1、公比2の等比数列であるから $b_n=1 \times 2^{n-1}=2^{n-1}$

よって $a_n=b_n+3=2^{n-1}+3$

(2) $a_1=2, a_{n+1}=5a_n-4$

$c=5c-4$ を解くと $c=1$

漸化式を変形すると $a_{n+1}-1=5(a_n-1)$

$a_n-1=b_n$ とおくと $b_{n+1}=5b_n, b_1=a_1-1=2-1=1$

数列 $\{b_n\}$ は初項1、公比5の等比数列であるから $b_n=1 \times 5^{n-1}=5^{n-1}$

よって $a_n=b_n+1=5^{n-1}+1$

(3) $a_1=1, a_{n+1}=4a_n+6$

$c=4c+6$ を解くと $c=-2$

漸化式を変形すると $a_{n+1}+2=4(a_n+2)$

$a_n+2=b_n$ とおくと $b_{n+1}=4b_n, b_1=a_1+2=1+2=3$

数列 $\{b_n\}$ は初項3、公比4の等比数列であるから $b_n=3 \times 4^{n-1}$
 よって $a_n=b_n-2=3 \times 4^{n-1}-2$

(4) $a_1=1, a_{n+1}=\frac{1}{3}a_n+2$

$c=\frac{1}{3}c+2$ を解くと $c=3$

漸化式を変形すると $a_{n+1}-3=\frac{1}{3}(a_n-3)$

$a_n-3=b_n$ とおくと $b_{n+1}=\frac{1}{3}b_n, b_1=a_1-3=1-3=-2$

数列 $\{b_n\}$ は初項-2、公比 $\frac{1}{3}$ の等比数列であるから $b_n=-2 \times \left(\frac{1}{3}\right)^{n-1}$

よって $a_n=b_n+3=-2 \times \left(\frac{1}{3}\right)^{n-1}+3$

5. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

(1) $a_1=5, a_{n+1}=3a_n-4$ (2) $a_1=2, a_{n+1}=9-2a_n$

(3) $a_1=1, a_{n+1}=\frac{1}{3}a_n+2$ (4) $a_1=1, a_{n+1}=4a_n+1$

- 解答** (1) $a_n=3^n+2$ (2) $a_n=-(-2)^{n-1}+3$ (3) $a_n=-2 \cdot \left(\frac{1}{3}\right)^{n-1}+3$

(4) $a_n=\frac{1}{3}(4^n-1)$

(1) 漸化式を変形すると $a_{n+1}-2=3(a_n-2)$

$a_n-2=b_n$ とおくと $b_{n+1}=3b_n$

よって、数列 $\{b_n\}$ は公比3の等比数列で、初項は

$$b_1=a_1-2=5-2=3$$

数列 $\{b_n\}$ の一般項は $b_n=3 \cdot 3^{n-1}=3^n$

したがって、数列 $\{a_n\}$ の一般項は、 $a_n=b_n+2$ より $a_n=3^n+2$

(2) 漸化式を変形すると $a_{n+1}-3=-2(a_n-3)$

$a_n-3=b_n$ とおくと $b_{n+1}=-2b_n$

よって、数列 $\{b_n\}$ は公比-2の等比数列で、初項は

$$b_1=a_1-3=2-3=-1$$

数列 $\{b_n\}$ の一般項は $b_n=-1 \cdot (-2)^{n-1}=-(-2)^{n-1}$

したがって、数列 $\{a_n\}$ の一般項は、 $a_n=b_n+3$ より $a_n=-(-2)^{n-1}+3$

(3) 漸化式を変形すると $a_{n+1}-3=\frac{1}{3}(a_n-3)$

$a_n-3=b_n$ とおくと $b_{n+1}=\frac{1}{3}b_n$

よって、数列 $\{b_n\}$ は公比 $\frac{1}{3}$ の等比数列で、初項は

$$b_1=a_1-3=1-3=-2$$

数列 $\{b_n\}$ の一般項は $b_n=-2 \cdot \left(\frac{1}{3}\right)^{n-1}$

したがって、数列 $\{a_n\}$ の一般項は、 $a_n=b_n+3$ より $a_n=-2 \cdot \left(\frac{1}{3}\right)^{n-1}+3$

$$(4) \text{ 漸化式を変形すると } a_{n+1} + \frac{1}{3} = 4 \left(a_n + \frac{1}{3} \right)$$

$$a_n + \frac{1}{3} = b_n \text{ とおくと } b_{n+1} = 4b_n$$

よって、数列 $\{b_n\}$ は公比 4 の等比数列で、初項は

$$b_1 = a_1 + \frac{1}{3} = 1 + \frac{1}{3} = \frac{4}{3}$$

$$\text{数列 } \{b_n\} \text{ の一般項は } b_n = \frac{4}{3} \cdot 4^{n-1} = \frac{1}{3} \cdot 4^n$$

$$\text{したがって、数列 } \{a_n\} \text{ の一般項は, } a_n = b_n - \frac{1}{3} \text{ より } a_n = \frac{1}{3}(4^n - 1)$$

6. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

$$a_1 = 2, \quad 3a_{n+1} + a_n = 4$$

解答 $a_n = \left(-\frac{1}{3}\right)^{n-1} + 1$

$$3a_{n+1} + a_n = 4 \text{ から } a_{n+1} = -\frac{1}{3}a_n + \frac{4}{3}$$

$$\text{これを変形すると } a_{n+1} - 1 = -\frac{1}{3}(a_n - 1)$$

$$a_n - 1 = b_n \text{ とおくと } b_{n+1} = -\frac{1}{3}b_n$$

$$\text{よって、数列 } \{b_n\} \text{ は公比 } -\frac{1}{3} \text{ の等比数列で、初項は}$$

$$b_1 = a_1 - 1 = 2 - 1 = 1$$

$$\text{ゆえに、数列 } \{b_n\} \text{ の一般項は } b_n = 1 \cdot \left(-\frac{1}{3}\right)^{n-1} = \left(-\frac{1}{3}\right)^{n-1}$$

$$\text{したがって } a_n = b_n + 1 = \left(-\frac{1}{3}\right)^{n-1} + 1$$

7. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の一般項を、[] で示されたおき換えを利用することによって求めよ。

$$(1) \quad a_1 = 1, \quad a_{n+1} = \frac{a_n}{2a_n + 1} \quad \left[\frac{1}{a_n} = b_n \right]$$

$$(2) \quad a_1 = 1, \quad a_{n+1} = \frac{a_n}{3a_n + 4} \quad \left[\frac{1}{a_n} = b_n \right]$$

$$(3) \quad a_1 = -1, \quad na_{n+1} = (n+1)a_n \quad \left[\frac{a_n}{n} = b_n \right]$$

解答 (1) $a_n = \frac{1}{2n-1}$ (2) $a_n = \frac{1}{2 \cdot 4^{n-1} - 1}$ (3) $a_n = -n$

(1) $a_1 = 1 > 0$ より、漸化式の形からすべての自然数 n について $a_n > 0$ である。

漸化式の両辺の逆数をとる (つまり、分子分母をひっくり返す) と

$$\frac{1}{a_{n+1}} = \frac{2a_n + 1}{a_n} \quad \text{よって } \frac{1}{a_{n+1}} = \frac{2a_n}{a_n} + \frac{1}{a_n} \quad \text{となる。}$$

$$\frac{2a_n}{a_n} \text{ は約分されるので } \frac{1}{a_{n+1}} = 2 + \frac{1}{a_n} \quad \text{となる。}$$

$$\frac{1}{a_n} = b_n \text{ とおくと } \frac{1}{a_{n+1}} \text{ は } b_{n+1} \text{ となるので } b_{n+1} = b_n + 2$$

よって、数列 $\{b_n\}$ は公差 2 の等差数列で、初項 b_1 は $\frac{1}{a_1} = b_1$ であったから

$$b_1 = \frac{1}{a_1} \quad \text{なので } a_1 = 1 \quad \text{より} \quad b_1 = \frac{1}{a_1} = \frac{1}{1} = 1$$

$$\text{ゆえに } b_n = 1 + (n-1) \times 2 = 2n - 1$$

$$\text{したがって } \frac{1}{a_n} = b_n \text{ であったから, } \frac{1}{a_n} = \frac{b_n}{1} \text{ と考えて,}$$

$$\text{この式の両辺の逆数をとると } \frac{a_n}{1} = \frac{1}{b_n} \quad \text{つまり } a_n = \frac{1}{b_n} \quad \text{となり}$$

$$b_n = 2n - 1 \quad \text{であったから } a_n = \frac{1}{b_n} = \frac{1}{2n - 1}$$

(2) $a_1 = 1 > 0$ より、漸化式の形からすべての自然数 n について $a_n > 0$ である。

$$\text{漸化式の両辺の逆数をとる (分子分母をひっくり返す) と } \frac{1}{a_{n+1}} = \frac{3a_n + 4}{a_n}$$

$$\text{よって } \frac{1}{a_{n+1}} = \frac{3a_n}{a_n} + \frac{4}{a_n} \quad \text{より} \quad \frac{1}{a_{n+1}} = 3 + 4 \times \frac{1}{a_n}$$

$$\frac{1}{a_n} = b_n \text{ とおくと, } \frac{1}{a_{n+1}} \text{ は } b_{n+1} \text{ となるので } b_{n+1} = 3 + 4b_n$$

$$\text{変形すると } b_{n+1} + 1 = 4(b_n + 1)$$

$$\text{よって, } c_n = b_n + 1 \text{ とおくと } b_{n+1} + 1 \text{ は } c_{n+1} \text{ となるので } c_{n+1} = 4c_n$$

数列 $\{c_n\}$ は公比 4 の等比数列で、 $c_1 = b_1 + 1$ である。

$$b_1 = \frac{1}{a_1} = \frac{1}{1} \quad \text{より} \quad c_1 = b_1 + 1 = \frac{1}{a_1} + 1 = \frac{1}{1} + 1 = 2$$

$$\text{ゆえに } c_n = 2 \cdot 4^{n-1} \text{ から } b_n + 1 = 2 \cdot 4^{n-1} \quad \text{よって } b_n = 2 \cdot 4^{n-1} - 1$$

$$\text{したがって } \frac{1}{a_n} = b_n \text{ であったから, } \frac{1}{a_n} = \frac{b_n}{1} \text{ と考えて, この式の両辺の逆数をとると}$$

$$\frac{a_n}{1} = \frac{1}{b_n} \quad \text{つまり } a_n = \frac{1}{b_n} \quad \text{となり, } b_n = 2 \cdot 4^{n-1} - 1 \text{ であったから}$$

$$a_n = \frac{1}{b_n} = \frac{1}{2 \cdot 4^{n-1} - 1}$$

(3) 漸化式の両辺を $n(n+1)$ で割ると $\frac{na_{n+1}}{n(n+1)} = \frac{(n+1)a_n}{n(n+1)}$ より $\frac{a_{n+1}}{n+1} = \frac{a_n}{n}$

$$\frac{a_n}{n} = b_n \text{ とおくと } b_{n+1} = b_n$$

これは数列 $\{b_n\}$ が公比 1 の等比数列であることを意味するので

$$b_n = b_1 \times 1^{n-1} \quad \text{つまり } b_n = b_1 \quad \text{ここで } b_n = \frac{a_n}{n} \quad \text{なので } b_1 = \frac{a_1}{1} = \frac{-1}{1} = -1$$

$$\text{ゆえに } b_n = -1 \quad \text{したがって } b_n = b_1 \text{ であったから } b_n = -1$$

(つまり、数列 $\{b_n\}$ はすべての項が -1 である数列)

$$\text{また, } b_n = \frac{a_n}{n} \text{ であったから, この式の両辺に } n \text{ をかけると } nb_n = a_n$$

$$\text{よって, } b_n = -1 \text{ であったから } a_n = nb_n = -n$$